スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県白石市

自 治 体 名 ： 宮城県白石市
担 当 課 名 ： 生涯学習課
電 話 番 号 ： 0224-22-1343

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

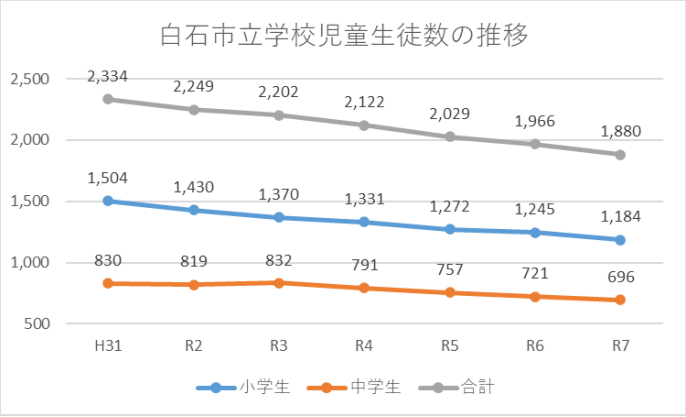
面積	286.47㎢
人口	29,942人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	696人
部活動数	40部活
地域クラブ活動数	5クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化に伴い、一つの中学校だけでは特定の運動部を設けることが難しい状況が生じており、設置している運動部の精選が各学校の課題の一つとなっている。また、競技、指導経験がない教員が運動部顧問をしている場合があり、心身ともに負担が大きくなっている。

一方、生徒からは「もっと上手くなりたい」「成長したい」との声もあり、更なる指導者及び練習内容の質の向上と充実を図る必要がある。更に、これまで実証事業を実施していた中学校以外からも地域展開の要望があることから、指導者の増員も視野に、地域展開の取組の拡大を図らなければならない。

また、生徒、学校、指導者等をつなぐコーディネーターの役割も重要であることから、関係各所との連携を図るとともに、生徒や保護者、指導者、学校等のニーズの的確な把握や、受益者負担の適切な設定や徴収方法の検討等を行うこととする。



出典:白石市在籍児童生徒数

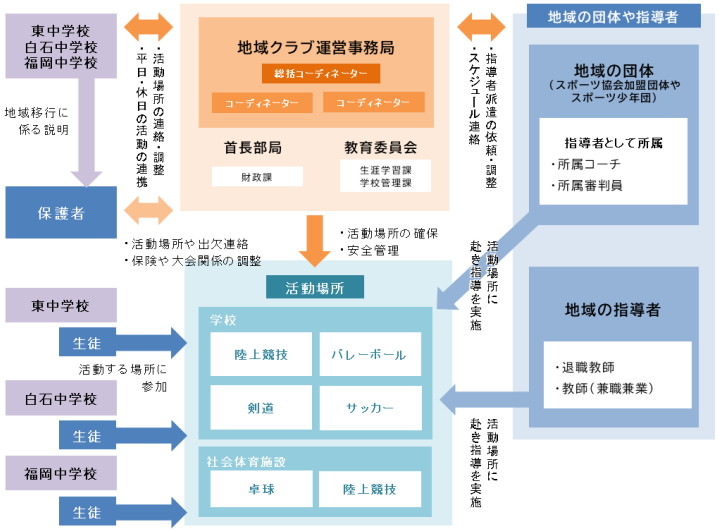
【課題】
白石市の現在の出生数を考慮すると、今後も減少傾向が一層顕著になることが予想される。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・生涯学習課（スポーツ主管課）：実証事業主管、実施主体との連携

・学校管理課（学校体育担当課）：学校部活動、部活動指導員の調整

◉首長部局

・財政課…予算措置

◉コーディネーター

・指導者調整、派遣、研修・緊急時対応 等

年間の事業スケジュール

令和７年　４月	拠点校における実施準備
令和７年　５月	拠点校との打ち合わせ 指導者との打ち合わせ
令和７年　６月	保護者説明会
令和７年　７月	地域スポーツクラブ活動開始
令和７年　８月	地域スポーツクラブ活動
令和７年　９月	地域スポーツクラブ活動
令和７年 10月	地域スポーツクラブ活動 市内中学校長との打ち合わせ
令和７年 11月	地域スポーツクラブ活動 中間協議会
令和７年 12月	地域スポーツクラブ活動
令和８年　１月	地域スポーツクラブ活動 アンケート実施 (生徒,保護者,教員)
令和８年　２月	地域スポーツクラブ活動 実施協議会 完了報告書、成果報告書作成

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4クラブ）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	3人

②各クラブに関すること

クラブ名	種目	実施回数	実施時間帯	実施期間	活動場所	運営スタッフ数	会費
白石東中学校 陸上クラブ	陸上競技	月2回程度 週1回（土日祝）	9時～12時	令和7年7月 ～令和8年2月	白石川緑地公園陸上競技場 角田市陸上競技場	3名	0円
白石東中学校 卓球クラブ	卓球	月2回程度 週1回（土日祝）	9時～12時	令和7年7月 ～令和8年2月	白石市中央公民館ホール 旧白川中学校体育館	3名	0円
白石東中学校 女子バレークラブ	バレーボール	月2回程度 週1回（土日祝）	9時～12時	令和7年9月 ～令和8年2月	白石東中学校体育館	3名	0円
白石東中学校 剣道クラブ	剣道	月2回程度 週1回（土日祝）	9時～12時	令和7年9月 ～令和8年2月	白石市優武館道場	3名	0円
白石東中学校 サッカークラブ	サッカー	登録者なし 未実施					

③その他、体験会

●地域クラブ活動各クラブの初回は部活動と抱き合わせにし、引継ぎ含めて実施

2.実証内容と成果

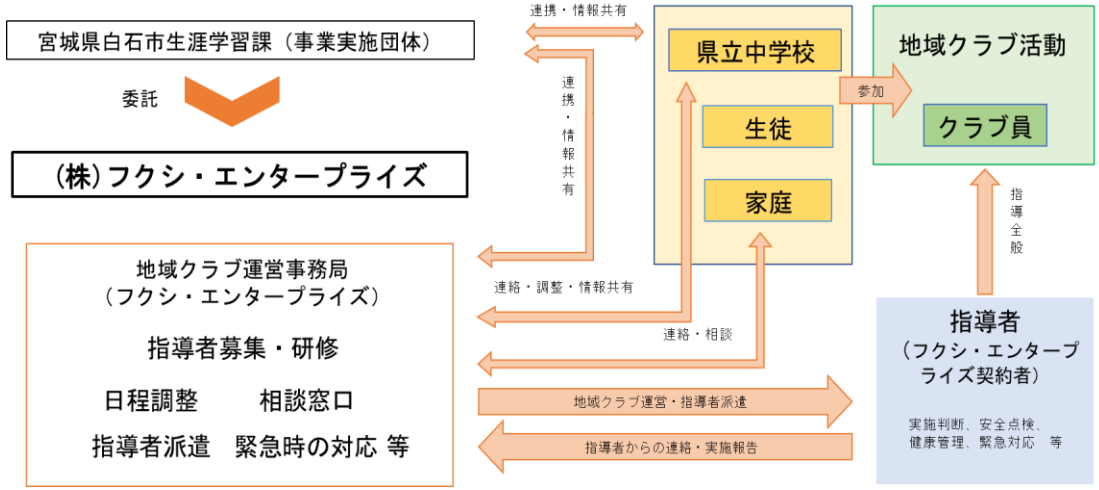
スポーツ庁

主な取組例

●宮城県白石市地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で 実施した種目	白石市東中学校 陸上・卓球・女子バレー・剣道
運営団体名	株式会社フクシ・エンタープライズ 東北支店
期間と日数	7月5日 ～ 2月22日 月2回程度
活動場所	白石東中学校体育館 白石川緑地公園陸上競技場 白石市中央公民館ホール 白石市優武館道場
主な移動手段	自家用車・公共交通機関
1人あたりの 参加会費等（年額）	一律0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり　：　800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●事業責任者　1人

役割：活動における管理者として、自治体、学校との連携を行う

●事業担当者　1人

役割：活動における現場責任者として、講師、保護者との連携を行う

●運営補助者　1人

役割：現場責任者の補助として運営を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 広域的なコーディネーター活動を行う事業担当者を１名配置し、各学校、講師、連絡調整を行う。
- 参加者管理、参加者・指導者への連絡、活動日時調整、SNS等アプリを活用する。

取組の成果

- 事業担当者を配置したことにより、各関係各所、保護者対応等の連絡調整やコーディネーター業務を円滑に行うことができた。
- SNS等のアプリの活用により、参加者及び保護者への連絡調整、参加登録手続き等、効率的に行うことができた。

順序	項目	保護者様	事務局
1	参加登録	二次元コードから参加登録 （保護者の同意含む）をお願いいたします。	
2	スポーツ保険加入		参加登録が確認でき次第、スポーツ保険に加入いたします。 スポーツ加入後は、保険加入完了通知メールをお送りいたします。
3	クラブ活動参加	事務局から【保険加入完了通知メール】が届いたら登録完了とし、クラブ活動に参加できます。 ※スポーツ保険加入が完了していない場合、地域クラブ活動の参加はできかねます。	

項目	概要
開催日程について	各部活動地域クラブの開催日程につきましては、メールをお送りいたします。
欠席の連絡について	欠席の場合は、地域クラブ活動の1時間前までにに欠席の旨をお伝え下さい。
統括責任者について	都度の地域クラブ活動に合わせて学校に常駐はしておりません。 定期的な巡回を行い、環境整備に努めてまいります。
事故発生の対応	地域クラブ指導者は、被害生徒等の状況に応じて、速やかに止血、心肺蘇生などの応急手当を行います。
加入する保険について	スポーツ安全保険に加入いたします。 当保険は、クラブ活動中及び登下校中の事故等も保障の対象となります。 故意による破損等が発生した場合は保障対象外となります。 詳細につきましては、「**スポーツ安全保険のあらまし**」をご確認下さい。
個人情報について	個人情報保護方針に則り、地域クラブ活動運営業務以外に使用いたしません。

出典：令和７年度白石市地域スポーツクラブ体制整備実証事業保護者マニュアル

コーディネーターの具体的な動きの実績

各地域クラブを巡回し、講師から課題等のヒアリング・助言等を実施。
・各学校の顧問と調整等を実施し、連携、スムーズな運営に努めた。
・学校、講師、参加者、保護者への連絡および調整を実施した。
・巡回時に講師と話し合いの時間を設けることで課題早期解決に努めた。

今後の課題と対応方針

・学校区域内の講師確保を目指すことにより、持続的なクラブ運営体制の構築を図る。
・コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る。
・欠席者からの連絡対応の簡略化を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

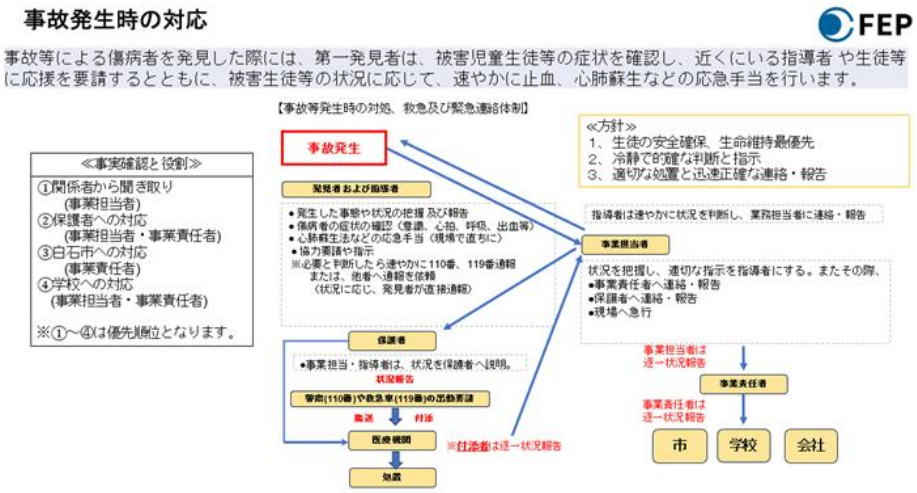
- スポーツ推進委員、スポーツ協会、協会加盟の競技団体、スポーツ少年団等スポーツ関連団体や大学と連携し、指導者を確保する。
- スポーツクラブ活動に携わる指導者全員を対象に研修会を開催し、指導者の質の向上を図る。
- 事業実施に先立ち、指導者に対し右図の緊急時対応マニュアルを共有するとともに、緊急時における連絡体制の確立に向けた事前打ち合わせを実施した。

取組の成果

- スポーツ協会加盟の競技団体経由や指導者の繋がり、参加している生徒の保護者等から指導者を４名確保した。
- 猛暑で熱中症リスクが高まる状況において、活動実施の可否や内容調整を迅速に行うため、熱中症警戒アラートや暑さ指数の活用の共有を行ったことで、安全に活動することができた。

→実施前日17時に状況を確認し、実施の可否を決定→関係各所への連絡
→当日５時に再度確認し、実施の最終可否を決定→関係各所へ連絡
→活動時に講師と連絡を取り合いながら、練習時間や内容の変更に随時対応
→講師にWBGT測定機器を支給し、実際の現場で熱中症リスクに応じた活動可否の判断を行う協力体制を確立させ実施

Ｒ７年度緊急時対応マニュアル



今後の課題と対応方針

- 熱中症警戒アラートが発生した際には、学校や講師へ迅速に情報を共有できる連絡体制を整備する。また、猛暑下での活動については、WBGT値等客観的な指標を用いた実施可否の判断基準を設け、講師間で統一した判断をできる体制を確立する。
- 緊急時対策に特化した取組を実施したが、その他の研修も取り入れ、更なる指導者の質の向上を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

白石市部活動地域スポーツクラブ活動体制整備事業の一環として、日本卓球株式会社（ニッタク）様、白石市卓球協会、白石工業高校の全面協力のもと、白石市内の子どもたちに卓球の楽しさを体験してもらうとともに、卓球に親しむ機会の創出、卓球人口の拡大および技術力向上のきっかけづくりを目的とした卓球教室を開催した。

参加者の募集については、白石市内の小学校と中学校にチラシを配布しイベントの周知と参加者の募集を行った。

会場については、急遽選挙が開催されることとなり当初想定していた会場が使用できなくなったが、地元の白石工業高校様のご協力を得て開催した。



活動の詳細

参加者	白石市内小学生 白石市内中学生 白石東中卓球クラブ 白石工業高校卓球部 全21名	指導者	日本卓球（ニッタク） 細井講師、竹本講師 地域移行卓球クラブ 村上講師、杉原講師
内容	卓球クリニック ①初心者向け卓球体験会（卓球にふれ楽しむ） ②経験者向け技術向上クリニック		
参加者の声	• プロで実際に活躍されている選手から指導していただけて、すごく良い機会になった。 • より専門的な技術の習得につながった。 • 卓球は初めてだったが、これから始めてみたいです。 • 今は難しいけど、練習して完成できるように頑張りたい。		

取組の成果

本イベントでは、小学生から高校生まで幅広い年代の参加者が交流しながら、互いに刺激を受けつつ真剣に練習へ取り組む姿が見られた。卓球未経験の小学生および保護者も参加し、競技への関心を高める契機となった。地域、関係団体、企業のご支援のもと、地域クラブ活動の普及促進および地域貢献に寄与するイベントとして実施することができた。

PR配布チラシ



活動写真



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

・これまで実施していた東中学校における種目の増加を目標とするとともに、白石中学校、福岡中学校といった他中学校における実情を把握し、学校側・生徒側のニーズや、指導者の意向など諸事情を認識した上で、実施可能な運動部を選別し、地域展開を図ることとする。

今後の取組における課題

- 他校の体育館を拠点校として利用する際に、保護者の送迎負担を軽減すること。
- チーム競技を対象にすることで、他校の生徒に戦術が漏れる可能性があること。
- 部員数の減少により、他地区の中学校との合同チームが長期間続いている状況。

取組の成果

・各中学校長と、実証事業に向けた打合せを複数回実施した。学校側としても地域展開の必要性は認識しているが、現状の取組や地域展開を達成する上での課題など整理が必要となる問題が多いことが分かり、参加までは至らなかった。しかし、問題点の共有・確認が取れたと同時に、次年度へ向けた連絡調整を行うことができた。

課題への対応方針

- 体育館などの学校施設を使用しない競技から開始し、どの学区から参加しても同じ場所で活動するため、参加者に不公平感を与えない取り組みを進める。
- 個人のスキル向上に重点を置いた活動を広くPRする。
- 次回の総体までを期限とし、学校長や顧問間で合意を形成し、その後は「チーム白石」として結成することについて話し合いを行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

- 高校生との合同練習を行い、世代間の交流を促進すると同時に、練習の質を向上させることを目指す。
- 現場のニーズや意見を反映した取組を進めるため、実証事業に関して生徒、保護者、指導者、教員を対象にアンケート調査を実施する。

取組の成果

- 高校生と合同練習をすることで、世代間交流・連携などを構築することができ、生徒の技術力の向上、指導者の質の向上を含めて効果的な取り組みとなった。
- 参加した中学生39人を対象としたアンケートの結果、回答者全員がクラブの活動内容、実施回数に対して「よい」、「まあまあよい」と回答している。
- 保護者にも同様に実施回数についてアンケートした結果、85.7%が「よい」、「まあまあよい」と回答しているが、14.3%はもう少し増やしてほしいと感じているようである。
- 対象部活動の顧問を対象としたアンケートの結果、全員が「休日業務が軽減された」と回答。

今後の取組における課題

- 高校生との合同練習は、特定の競技種目に限定されており、さらに一度のみの実施にとどまっているため、回数の増加はもちろんだが、種目の増加についても取組が必要である。
- 一部の保護者からは、アンケートによる意見として「実施回数が不足している」との声が上がっているため、ニーズを踏まえた上で、指導者や学校側と調整を行うとともに、保護者に対しても丁寧かつ、分かりやすい説明や実施していく必要がある。

課題への対応方針

- 現在合同練習を実施している競技種目で、実施回数の増加が可能かどうかを関係者と検討・調整する。また、別種目についても随時検討を行う。
- 地元の高校（白石高校、白石工業高校）に対して、継続的な合同練習の開催や、中学生への指導を依頼するとともに、その必要性や意義を広く周知して、部活動の地域展開は地域全体としての課題であることを認識してもらう。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

活動の詳細（高校生との合同練習）

参加人数	18人	指導者数	７人
属性	世代間交流に関する取組		
具体的な内容	陸上競技は、毎月開催している仙南地区合同練習のうち１月開催の日に、他の中学生と合わせて高校生との合同練習を実施。 卓球は１月と２月に１回ずつ、白石工業高校と合同練習を実施。		
子どもの声	● 自分がやっている種目に対してアドバイスをもらい、以前に比べて上達できた。 ● アドバイスがわかりやすくてよかった。 ● 普段の練習より更に上のレベルを体験することができた。		
関係者の声	● 子どもたちは、指導者（大人）から伝えるのとはまた違ったとらえ方で高校生のアドバイスを聞いてくれるので、良い刺激になっている。 ● 各々の専門分野や指導方法を持った指導者が増えることにより、子どもたちの技術力の向上につながるのはもちろん、指導者の指導方法の拡大にもつながる。		
運営経費	指導者間の連携で実施したため費用は発生していない		

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- 全体のバランスを考慮しつつ、会費の適切な設定や徴収方法を検討し、受益者負担と公的資金の適切な配分を含めた収支構造の見直しを進める

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・なし

■ランニングコストの分析

・指導者謝金（519千円）
・指導者旅費（15千円）
・消耗品費（50千円）
・保険料（50千円）
・コーディネーター人件費（2,448千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った。
運営主体の収支は「クラブ活動費」と「クラブ運営費」の二つに分けて検討した。「クラブ運営費」は生徒への直接的な支援に該当しないため、国費や市の自主財源で賄うこととし、「クラブ活動費」については利用者負担として検討を進める方針とした。
（検証結果の詳細は次ページ参照）

収支バランス

今後は、地域クラブに関わる経費をクラブ運営費とクラブ活動費の2つに分けて管理する。令和7年度のデータによると、全体の82.3%を占めるクラブ運営費は公費で賄い、残りの17.7%を占めるクラブ活動費については、どの程度受益者負担とするかを検討する必要がある。
今回の39人の参加者数を基にクラブ活動費の負担額が適切かどうか確認する必要があるが、毎月の負担としては負担感があると考えられる。
収入については現時点では全額公費で対応している。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○運営主体の収支は「クラブ活動費」と「クラブ運営費」の二つに分けて検討した。「クラブ運営費」は生徒への直接的な支援に該当しないため、国費や市の自主財源で賄うこととし、「クラブ活動費」については利用者負担として検討を進める方針とした。

○クラブ活動費を参加者全員に負担を求める場合や、指導者への謝金および生徒と指導者の保険料の２項目に限って負担を求める場合でも、月額で1,800円を超える見込みである。

○一部の部活動でしか負担の対応が進んでおらず、他の部との均衡を考慮すると、負担を求めるのは難しい状況にある。

○保険料の負担のみを参加者に求める場合、年間の負担額が約1,200円程度となり、理解を得られる可能性がある。

項目	費用	割合	
クラブ活動費	632,210	17.7%	
諸謝金	518,400	14.5%	
旅費	14,140		
消耗品費	49,970		
保険料	49,700	1.4%	
クラブ運営費	2,930,734	82.3%	⇒公費負担
人件費	2,448,000		
通信運搬費	5,160		
振込手数料	1,820		
消費税相当額	151,850		
一般管理費	323,904		
合計	3,562,944		

	月額	公費負担額
案①「クラブ活動費すべて受益者負担」 ⇒	2,026円/月	2,930,734円
案②「謝金と保険料を受益者負担」 ⇒	1,821円/月	2,994,844円
案③「保険料のみ受益者負担」 ⇒	159円/月	3,513,244円
算出根拠 ⇒	費用/①/②	合計-費用

①	活動月数	8
②	申込者	39

出典：令和7年度白石市地域スポーツクラブ活動体制整備事業受益者負担試算

今後の課題と対応方針

○クラブ活動費に限定して参加者に費用負担を求める場合でも、一定の人数が参加しなければ費用を賄うことができず、持続可能性の観点で懸念が残る。低額な受益者負担を求めつつ、行政の支援が不可欠であるため、継続的な活動を前提とした仕組みの整備が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

- 参加者・保護者等の送迎、施設使用料、講師の移動等の負担の軽減に向けて、学校体育施設や、白石市内の公共施設等を中心に活動を実施する。

取組の成果

- 学区内での活動により、生徒が参加しやすくなり、保護者の送迎負担も軽減された。
- 一部備品は地域移行クラブにて用意したが、公共施設の備品を活用することで経費を抑制することができた。
- 練習会場が概ね固定されていたため、学校・コーディネーター・参加者（保護者）間での連絡が円滑に行えた。
- 冬期は室温が低いことから怪我を予防するため学校と協議の上、ジェットヒーターが使用できたことで、安全な練習環境を整備できた。

今後の課題と対応方針

- 屋外の競技種目は、季節、天気、気温、グラウンドコンディション等によって実施回数に影響を及ぼす可能性がある。実際に今年度は熱中症警戒アラートの発生や大雨等により活動が中止となることが発生した。屋内競技種目とスケジュールの調整を行い、予備の活動場所として、屋内体育施設も確保する必要がある。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度は運営団体が変更され、新体制での実施となったが、講師の半数が継続して担当したことで、２つのクラブはスムーズに活動をスタートできた。残りの２クラブは後半に講師を確保したため開始が遅れたものの、地域や部活動で実績のある講師を配置できたことで、参加者や保護者の理解を得て円滑に移行が進んだ。一方で、１つのクラブは参加希望者がなく、実施に至らなかった。

練習内容については、学校とクラブの講師間で重複部分があったものの、双方が納得の上で調整・合意し、問題なく移行が行われた。

実施回数に関しては、参加者や保護者から「もう少し増やしてほしい」という声があり、より専門的な指導環境を求めるニーズが高まっていると考えられる。

令和８年度は、これらの意見を的確に反映し、地域クラブ活動を安定的に運営できる体制の構築が求められる。

●成果の評価

〇指導者の確保

実施できなかった種目の展開方法は大きな課題である。

〇実施回数の設定

参加者・保護者の希望する実施回数に対応可能な講師の確保と理解が必要。

〇活動場所の確保

学校と運営団体の連携強化が必要（特に夏場や屋外競技の代替施設等）。

●今後に向けて

〇指導者の確保

→次年度だけではなく、中長期的に地域の指導者として継続できる講師の確保

〇実施回数の設定

→月２回程度設定から、月３回程度の実施に向けて検討

〇関係団体との連携

→公共施設を使用する場合の空き状況確認と予約方法の検討（年単位で確保）

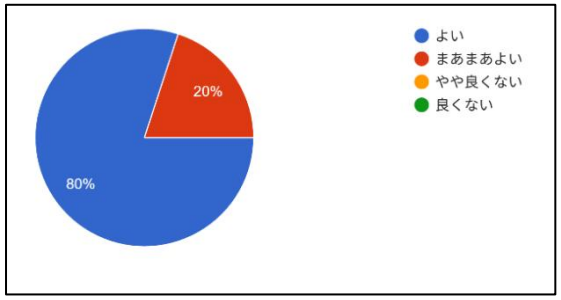
2.実証内容と成果

スポーツ庁

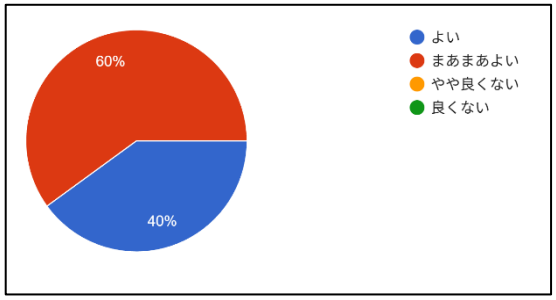
アンケート結果・参加者/関係者の声

・アンケート結果

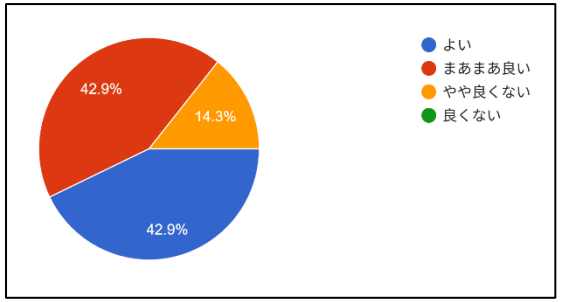
Q、【参加者】休日クラブの活動内容についてどのように感じますか？



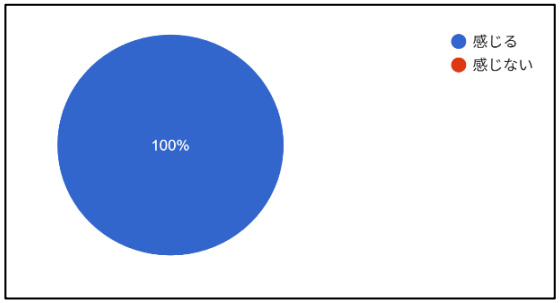
Q、【参加者】休日クラブの実施回数についてどう感じますか？



Q、【保護者】休日クラブの実施回数についてどのように感じますか？



Q、【部活動顧問】部活動地域移行により、休日業務が軽減されたと感じますか？



・参加者/関係者の声

参加者の声①

休日クラブの指導だけではなく、今後平日の部活動の指導をぜひ行ってほしい。

保護者の声①

お陰様で県大会で入賞することができて感謝しています。今後も上位入賞できるようご指導お願いいたします。

保護者の声②

実施回数をもう少し増やしてほしいです。土日に検定などが重なると参加できない日がありました。指導者の確保含めてご検討お願いします。

部活動顧問の声①

専門ではない部活を担当しているので負担感を感じていたが、専門のコーチに安心して任せられた。休日数も増え、気分も軽くなった。

2.実証内容と成果

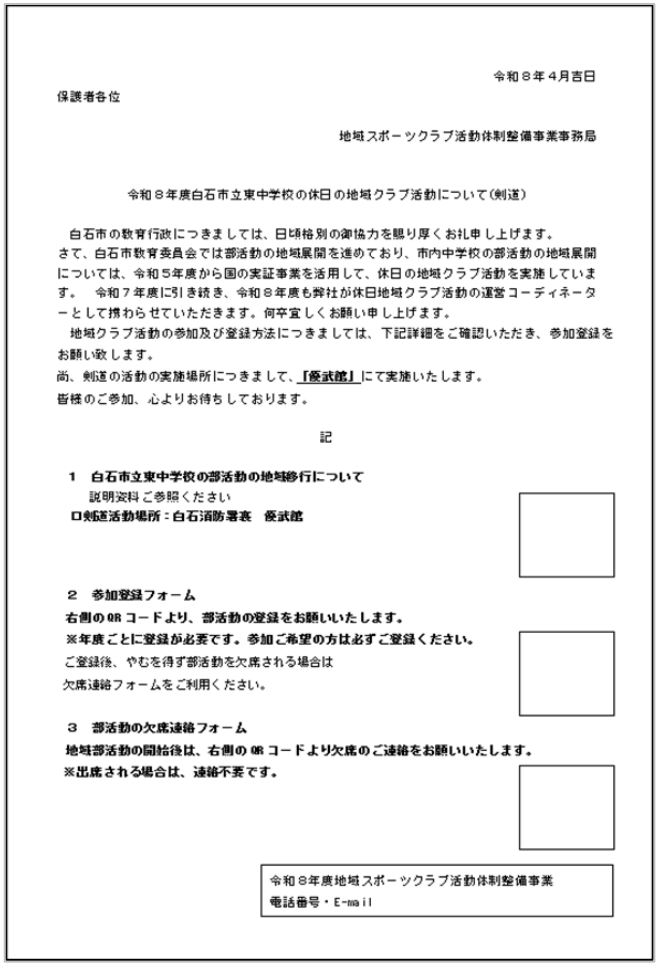
スポーツ庁

取り組み事項

- SNSなどのアプリを利用して、参加申込書や同意書を電子化し、PCやスマートフォンで一元管理を実現した。
- 本事業の説明を動画化し、いつでもどこでも詳しい情報を提供できる環境を整えた。
- 参加者名簿を電子化することで、指導者への参加者情報の共有も電子媒体上で完結できる体制を構築した。

取組の成果

- 参加者名簿の電子化により、生徒が個人情報を含む登録用紙をクラブに持参する必要がなくなり、トラブルの防止につながった。
- 電子化された参加者名簿を使うことで、事務局や指導者間での情報共有を円滑に行えるようになった。
- 参加者名簿の電子化によって、登録から実際の活動開始までの時間を大幅に短縮することができた。



令和８年４月吉日

保護者各位

地域スポーツクラブ活動体制整備事業事務局

令和８年度白石市立東中学校の休日の地域クラブ活動について(剣道)

白石市の教育行政につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、白石市教育委員会では部活動の地域展開を進めており、市内中学校の部活動の地域展開については、令和５年度から国の実証事業を活用して、休日の地域クラブ活動を実施しています。 令和７年度に引き続き、令和８年度も弊社が休日地域クラブ活動の運営コーディネーターとして携わらせていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。
地域クラブ活動の参加及び登録方法につきましては、下記詳細をご確認いただき、参加登録をお願い致します。
尚、剣道の活動の実施場所につきまして、**「優武館」**にて実施いたします。
皆様のご参加、心よりお待ちしております。

記

１ 白石市立東中学校の部活動の地域移行について
説明資料ご参照ください
□剣道活動場所：白石消防署裏 優武館

２ 参加登録フォーム
右側のQRコードより、部活動の登録をお願いいたします。
※年度ごとに登録が必要です。参加ご希望の方は必ずご登録ください。
ご登録後、やむを得ず部活動を欠席される場合は
欠席連絡フォームをご利用ください。

３ 部活動の欠席連絡フォーム
地域部活動の開始後は、右側のQRコードより欠席のご連絡をお願いいたします。
※出席される場合は、連絡不要です。

令和８年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
電話番号・E-mail

【参加者本登録案内資料】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【白石市東中学校地域クラブの様子：陸上】



【白石市東中学校地域クラブの様子：卓球】



【白石市東中学校地域クラブ活動の様子：女子バレー】



【白石市東中学校地域クラブ活動の様子：剣道】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和２年

協議会設置、検討開始 ▶ 受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定 ▶ 学校現場との調整

令和３年

▶ 生徒、保護者への説明 ▶ 地域クラブ活動の開始 ▶ 地域クラブ活動の拡大

令和８年

●ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体、市教育委員会、統括コーディネーター

●経緯

令和２年度に学校、スポーツ協会、市教育委員会で検討委員会を設置し、拠点校を選定した。また、スポーツ協会加盟の各協会に指導者の派遣を依頼した。その後、拠点校と協議し、実施する部活動を決定。指導者が確保できた５つの部活動で進めることとなった。

●実施内容

拠点校の５つの部活動に所属する部員の保護者に対し、本事業の趣旨や今後の進め方について説明会を開催した。その後、休日の部活動をクラブ活動として実施する取り組みを開始した。

●工夫した点

開始当初は休日の部活動とクラブ活動を同時に実施し、顧問の先生と地域の指導者が協力して指導した。これにより、生徒が混乱せず、平日と休日の活動内容が乖離しないように配慮した。

●実施における課題

スポーツ協会を通じた指導者の選定ができなかった競技では、顧問の兼職兼業や生徒の保護者の登録により、指導者を確保して活動を開始できた。その後も、指導者の人脈やスポーツ少年団のコーチ、退職教師や現役教師の兼職兼業登録を通じて指導者の確保に努めているが、依然として充足していない状態である。現在、スポーツ少年団や地域の大学に指導者募集の案内を送るなど、統括コーディネーターが関係者に働きかける方法を検討している。

団体競技では、人数不足のために他地区の学校との合同チーム編成が避けられない状況にある。

●今後の展望

令和８年からは、拠点校の施設（体育館等）を使う必要がなく、かつ比較的合同チームを組成する必要性の低い個人競技の活動を中心に、拠点校以外の学校からの参加促進を図る。団体競技については、白石地区内でチーム編成ができるよう支援し、クラブ活動への統合を目指す。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

白石市　運動部活動地域展開スケジュール（案）

	改革推進期間		改革実行期間			R11
	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）	2027年度（R9）	2028年度（R10）	
白石市 教育委員会 （生涯学習課）	５つのモデルケース実証					休日の部活動全ての地域展開を目指す
	東中		市内中学校			
	スポーツクラブと部活動の並走		クラブ活動に統合して活動 取り組みできる競技から順次			
	休日の部活動の地域クラブ化を検討		休日の部活動の地域クラブ化を促進			
	平日の運動部活動は現状どおり継続し、令和11年度までに休日部活動を見直す					
	○部活動地域移行方針の策定 ○実態調査の実施 ○教員への説明 ○保護者、指導者への周知　等		段階的に休日部活動を制限			
	地域人材（指導者）の募集					
	地域指導者に対し研修の実施					